

2 項目別 回答の内容

1 全くあてはまらない

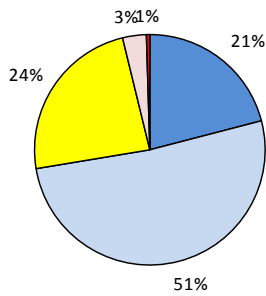
2 あまりあてはまらない

3 どちらともいえない

4 ややあてはまる

5 よくあてはまる

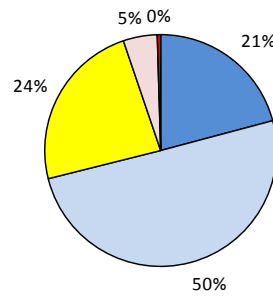
1 教育目標・教育方針



平均3.9

約3/4の保護者が肯定的な意見をもっている。目標や方針を具体化して実践できるかが今後の課題である。

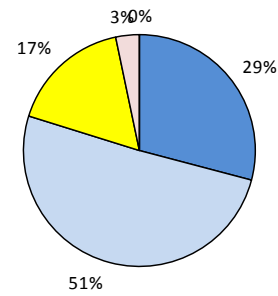
2 道徳性規範意識



平均3.8

目に見える形で現れにくいことであるが、将来に向けて是非とも身に付けておかなければならない。

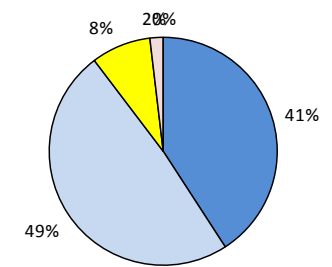
3 行事ことのみ



平均4.1

行事をこなすだけでなく、ねらいを明確にし、限られた時間の中でねらいに沿った内容、事前事後の指導、他教科とのつながりを考えていきたい。

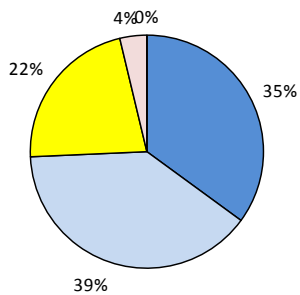
4 運動会学芸会



平均4.3

9割を超える方が肯定的にとらえている。子どもたちの達成感や自己肯定感を高めるために今後も高い目標をもって取り組みたい。

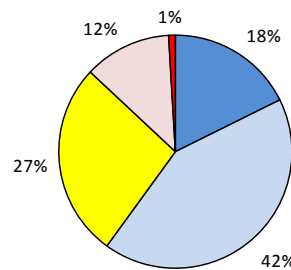
5 楽しく学習



平均4.0

学力不振は、生徒指導上の問題にも発展しやすい。学んだことが確実に身につくややる気につながるよう引き続き授業改善に努める必要がある。

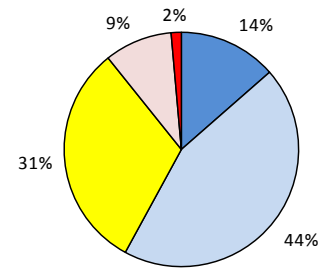
6 あいさつ返事



平均3.6

あまりあてはまらないの割合が高い。昨年に比べ、改善傾向にあるが、地道に継続的な指導を続けるしかない。

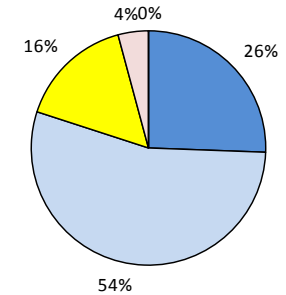
7 指導に対し素直



平均3.5

ワーストの評価となった。素直になれない子どもたち。個人への粘り強く継続した指導と安定した集団作りが必要である。

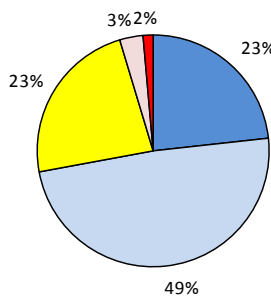
8 基礎的基本的な学力



平均4.0

学力差が広がらないように、全体のレベルアップが必要である。辛抱強く息の長い指導で学力向上を目指したい。

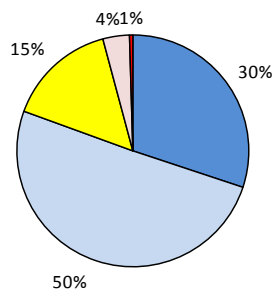
9 思考力判断力



平均3.4

自ら考え行動できる子どもを育てることが、学習・生活両面の安定に直結する。学習や生活において意図的に場を設定し鍛えることが必要ではないか。

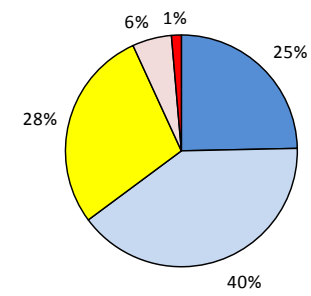
10 人権尊重



平均4.0

人権上問題のある言動は確実に減少している。子どもの人権意識を高め、正義を貫ける個人の育成、集団づくりをより一層進めていくことが不可欠である。

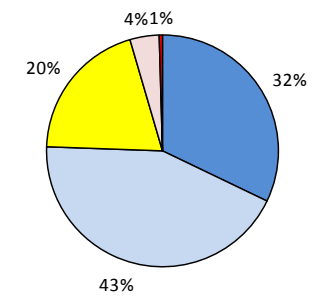
11 適切な言動



平均3.8

子どもたちの姿がそのまま表れやすい設問。返事、あいさつ、職員室の出入り、ものを頼む言い方、相手を認める言動等課題は少なくない。

12 適切公平な評価



平均4.0

常にアンテナを上げ、子どもたちの言動や変化に敏感になって、3/4を超える保護者の期待にこたえたい。